

研究機関名：下関市立市民病院

研究課題名：

緊急手術における米国外科学会全米外科の質向上プログラム（ACS NSQIP）のリスク計算機を日本の一病院において検証する研究

研究期間：

西暦 2015 年 1 月～西暦 2016 年 12 月

対象材料：

- 病理材料（対象臓器名： ）
生検材料（対象臓器名： ）
血液材料 遊離細胞
その他（カルテの記録）

上記材料の採取期間： 西暦 2015 年 1 月～西暦 2016 年 12 月

意義：

日本では緊急手術前の説明と同意において、そのリスクについて確たる根拠がなかったが、米国にはリスク計算機がインターネット上に公開され、患者+医師が共有できる。本邦において緊急手術前の説明と同意を充実させる意義がある。

目的：

日本の一病院の緊急手術における術前データを米国の計算機に入力した結果と実際の転帰を比較して、その実用性を検証する。

方法：

術前データを匿名で、米国外科学会質の向上プログラムの計算機に入力し、実際の合併症などの結果を統計学的に比較検討する。

個人情報の取り扱い：

侵襲を伴わない過去のデータの後ろ向きの、個人が特定されない研究であり、厚労省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定に基づき、当院のインターネット上の告知（本欄）により同意を得たものと判断される。

問い合わせ・苦情等の窓口：

〒750-8520

山口県下関市向洋町一丁目13番1号

下関市立市民病院 呼吸器外科 部長 吉田 順一

TEL 083-231-4111 FAX 083-224-3838